

## 表彰団体等

### 東北農政局長賞

|            |   |
|------------|---|
| 活動分野       | 食生活向上分野   |
| 団体名        | 大槌町立小槌小学校(岩手県上閉伊郡大槌町)   |
| 活動の名称      | ひとり立ちクッキング<br>生活技術の向上を目指して 子どもちゃれんじ!  |
| 活動概要及び審査概要 | <p>ひとの成長は「食の自立」が基本である。これを重要な教育課題として食育に取り組んだ模範的事例である。</p> <p>「生活技術を身につける」ことを目的に、毎月食育の日(19日)に教師と子どもで話し合い、炊飯やみそ汁作り、皮剥きなど、その月のちゃれんじ項目として設定。月末まで各家庭と協力して取り組む。</p> <p>子どもの自発的な行動を促し、家庭への波及効果も大きく、身近な内容を着実にレベルアップさせる取組は審査会において大きな評価を得た。</p> <p>また、親子参加型の食育授業を実施するとともに、地域の方を講師に招き料理教室や農業体験を行うなど、地域との連携を図っている点、また平成18年度からの取組であり、継続性についても評価された。</p> |
| 活動分野       | 教育ファーム分野  |
| 団体名        | JA栗っこあぐりスクール(宮城県栗原市)  |
| 活動の名称      | JA栗っこあぐりスクール  |
| 活動概要及び審査概要 | <p>田植えや稲刈り、野菜・果物の収穫などのほか、親子での料理教室や青果市場・魚市場の見学など流通についても学ぶなど、様々な食・農カリキュラムで実施。昼食時にはマイ箸、マイ皿、マイ茶碗を持参させるなど、エコにも関心を持たせている。</p> <p>あぐりスクールPTAを組織し、JA職員と協力して子供たちの指導に当たるほか、大人向けの食育の実践などにも取り組んでいる。</p> <p>また、地震以降も子供たちがスクールに結集し、被災者を勇気づけ、共同で支え合う大切さを学んでいる。</p> <p>来年度、あぐりスクール全国サミット会場として全国に東北の食育を発信するにふさわしい模範的実践である。</p>                             |
| 活動分野       | 地場産活用分野   |
| 団体名        | 山の楽校運営協議会(青森県八戸市)   |
| 活動の名称      | 人間回復～取り戻してほしい感謝の心～  |
| 活動概要及び審査概要 | <p>「昔ながら、田舎ならでは」をモットーに、「昔ながらの調理方法を学ぶ楽校」と、食と農を一つとした「1年を通じた食を楽しむ楽校」を、年間約60の講座(楽校)で実施。地域の高齢者を講師に、伝統食や行事食の調理方法や食べ方を学ぶとともに自然農法で作物を育てている。</p> <p>また、月1度のペースで楽校内で作った野菜や味噌を南郷区内の学校給食へ提供するなど、地域に根ざした文化の継承・地産地消の取組や、平成17年度からの継続性、同地域の食による健康づくり活動の実績なども大きく評価された。</p>   |

東北農政局長食育奨励賞

|            |  |
|------------|--|
| 活動分野       | 食生活向上分野  |
| 団体名        | 株式会社ヨークベニマル(福島県郡山市)  |
| 活動の名称      | スーパーマーケットからの食育 ～ヨークベニマルの食育活動～  |
| 活動概要及び審査概要 | <p>地域に根ざし、福島県産の農産物を徹底活用。小学生を招きスーパーを教室にした「スーパーマーケットツアー」や、農家と連携し農作業体験から流通まで学んで貰う食農体験、食事バランスガイドを活用した栄養相談や健康チェックなど様々な取組を行っている。</p> <p>国内・域内食料自給率向上や農業を護るための消費者教育を行い、流通・小売サイドが社会的に果たすべき責任のあり方を示した取組であり、活動の地域に及ぼしている効果の大きさや、今後の発展性についても評価された。</p>                            |
| 活動分野       | 教育ファーム分野   |
| 団体名        | 花巻農業協同組合(岩手県花巻市)   |
| 活動の名称      | ちゃぐりんスクール  |
| 活動概要及び審査概要 | <p>地域貢献、地域の食・農への責任から、子供たちに「いのち、農業、食べものの大切さ」を伝えることを目的に、平成15年度からJAを上げて取り組んでいる。</p> <p>入学から卒業まで、農作業体験だけでなく収穫したものを調理したりと、年間を通して様々なカリキュラムで実施。</p> <p>平成15年度から取り組んでいること、全国においても先進的であること、全国のJAへの波及効果や今後の発展性、農業生産者・団体が国民から期待されている活動を地域で展開し、直売所を含め、東北モデルの模範とも言えるべき実践が評価された。</p> |
| 活動分野       | 教育ファーム分野   |
| 団体名        | 東松島市立赤井小学校(宮城県東松島市)  |
| 活動の名称      | 田んぼの学校   |
| 活動概要及び審査概要 | <p>みんなの田んぼとして「みやこがね」を作付。田植えから収穫までの年間の一連の作業を体験学習。この「田んぼの学校」は、保護者や地域を巻き込んだ取組であり、平成15年度から継続して行っているこの取組は、県内の小学校で行われている農作業体験のモデル的存在になっている。</p> <p>農業が元気な地域で、直売所なども非常に多く、ともに相乗効果を生んでいる点などが評価された。</p>   |

東北農政局長食育奨励賞

|            |  |
|------------|--|
| 活動分野       | 地場産活用分野  |
| 団体名        | 特定非営利活動法人生き粋あさむし(青森県青森市)   |
| 活動の名称      | 耕して、育てて、おいしくいただく！<br>「食と農をつなぐ、いきいき農園と浅めし食堂の食育活動」   |
| 活動概要及び審査概要 | <p>「いきいき農園」で子供たちに農業の体験学習を行うとともに、収穫した野菜を、経営する「浅めし食堂」へ供給。「浅めし食堂」では旬の食材を使った健康的な地域の食を提供。</p> <p>孤独になりがちな高齢者への食事提供や食育活動も行い、近年食堂で提供するための農場を作り、雇用を生み出している。食材には、陸奥湾の海産物や青森の林産物も取り入れている。</p> <p>この食堂は、全国に誇りうるコミュニティ・レストランのモデルケースとも言えるレベルに成長。</p> <p>地域への食と健康の発信基地であり、住民の憩いの場となっている点や、平成14年度からの継続性などが評価された。</p>                          |
| 活動分野       | 地場産活用分野  |
| 団体名        | 株式会社JAシンセラ(岩手県盛岡市)   |
| 活動の名称      | 株式会社JAシンセラ   |
| 活動概要及び審査概要 | <p>矢巾町長とJA組合長のトップ会談で平成15年9月覚書を締結。16年4月より町内産最優先の食材全量供給を開始。</p> <p>生産供給組合(生産者)がJAシンセラへ食材を搬入し、加工が必要なものはカッティング工場で加工し給食センターへ納入している。JAの強みを活用し、生産供給組合でまかないきれないものは直売所や青果業者などを活用。この取組が農家においても所得の向上、安定に繋がっている。</p> <p>全国初とも言える地場産学校給食システムをビジネス化し、生産サイド・流通サイド、子供たちを含む学校関係者からの評価は極めて高い。食育が農業を核とした食品産業として成長する可能性を拓いた点や、その波及効果について評価された。</p> |